

令和6年度教育委員会点検評価委員(案)

新規委員

任期 令和6年8月1日～令和9年3月31日

氏名	主な役職	推薦所管課
宇野 雪江	南砺市主任児童委員代表	こども課

現委員

任期 令和5年8月1日～令和8年3月31日

氏名	主な役職	推薦所管課
齊藤 晴之	井波美術協会 会長	文化・世界遺産課
武部 かずえ	南砺市人権擁護委員	南砺で暮らしません課
大西 正起	南砺市PTA連絡協議会 会長	生涯学習スポーツ課

※役職は任期当初のもの

南砺市教育振興基本計画策定委員会委員名簿(案)

令和6年8月1日

構 成	所 属	氏 名	摘 要	性別
学識経験者 (1名)	富山国際大学 子ども育成学部 学部長	松山 友之		男
教育行政等 関係者 (3名)	南砺市小学校校長会代表	高田 公美		女
	南砺市中学校校長会代表	菱口 義裕		男
	南砺市認定こども園代表	横山 一乃		女
教育関係団 体等関係者 (5名)	南砺市生涯学習連絡協議会代表	前田 悟志		男
	南砺市PTA連絡協議会代表	橋爪 央樹		男
	青少年育成南砺市民会議代表	岩井 透		男
	南砺市スポーツ協会代表	舘 英二		男
	南砺市文化財保護審議会	長谷川 総一郎		男
公募委員 (3名)	公募委員	宮塚 功		男
	公募委員	高坂 真理		女
	公募委員	北野 恵美		女

【事務局】

所属・役職	氏 名
教育長	松本 謙一
教育部長	氏家 智伸
教育部次長・教育総務課長	上野 容男
生涯学習スポーツ課長	山下 真人
総合政策部 こども課長	溝口 早苗
ブランド戦略部 文化・世界遺産課長	平本 光一
教育総務課副参事	山本 佳和
教育総務課副参事	金谷 諭
教育総務課主幹	佐藤 聖子

令和6年6月会議 個別質問答弁要旨(教育委員会関係)

【令和6年6月14日(金)】

山田清志議員 個別質問(一問一答)

1. 住みたい南砺とは

⑥小規模校へ進む現在の教育環境が、若者へ与える影響をどう考えるのか。

松本教育長 豊かな自然と文化がある中で、本当に教育に関心の高い、温かい住民がたくさんいる南砺市、そして、そこに大規模ではない、中規模から小規模の整った施設が点在する南砺市、この教育環境は人格の形成を目指す教育の目的から見ると、とてもいいものであるとまずは考えております。

しかしながら、課題があるとすれば、議員がご指摘のように、近年の人口減少に伴い児童・生徒数も穏やかに減少しており、それが原因でこれまでの充実した活動ができなくなることが考えられます。これに対して、現在南砺市の各校では児童・生徒数が少なくなったからこそできる教育活動を工夫し、児童・生徒が明日も行きたくなるような学校を目指し、校長を中心に取り組んでいるところであります。

具体的には、教育課程においてチーム担任制を進め、より多くの目で一人一人を丁寧に見守ることができること、また、学年単級によるマンネリ化を防ぐ方策もそれぞれの学校で工夫しております。それに加え、南砺市ではそれぞれの地域の特色を積極的に教育課程に生かし、学校の様々な活動に地域やPTAが協力していただける体制も整っております。このほか、南砺市友好交流協会が行っている海外派遣、アメリカのポートランドやオーストラリアのナルーマ等、4か国から選べるなど、市全体として募集することで多様な選択肢があること、これらも南砺市独自の魅力的な施策だと考えております。

しかしながら、部活動については少子化の影響から十分な活動ができない状況になりつつあります。このため、令和2年から部活動改革の協議を進め、昨年度末に市スポーツ協会、市内各競技協会、市PTA連絡協議会等のご理解を得て、ようやく今年度から一部の部活動において、適正配置に伴う地域移行を開始することができました。まだこれについてすぐに評価できる段階ではないと思っておりますが、今ようやく小中一貫の指導体制、

そして、どのクラブを選んでも専門家集団による市としての最高の指導を受けられる体制が整ったところであると捉えております。

今後も部活動や地域クラブ、スポーツ少年団等の加入状況を注意深く見守り、少しでも児童・生徒の関心が高まるようにするための施策が必要であると考え、競技団体や市PTA連絡協議会等と連絡、協議を図ってまいります。

そして、教育の観点からも若者に選ばれる南砺市になるよう、さらなる改善を進めてまいります。今生きている子供たちが胸を張って生きている姿、これこそが一番の魅力になると考えております。

⑦市外から生徒を募集する特色ある学校づくりとして、南砺つばき学舎にゴルフ部を設置してはどうか。

氏家教育部長 南砺つばき学舎では学校設置以来、自学の時間による活動の1つとしてゴルフに取り組んでおり、昨年度はこの中から1名が富山県ジュニアハーフゴルフ大会で入賞をいたしました。市では、自学の時間にゴルフに取り組む子供たちの活動を支援するため、ゴルフ場へ移動するタクシー料金を負担しております。現在、前期課程の児童8名が自学の時間にゴルフに取り組んでいるものの、後期課程の生徒は現在のところいないというのが現状であります。

市ゴルフ協会でも教室を開催され、市内外から参加者がいると聞いておりますので、今後、ゴルフに取り組む児童・生徒が増えれば、新しい部やクラブの設置を支援していくということも考えてまいります。

さらにこの活動を周知するため、各学校で実施しているスポーツ少年団などのPRミーティングでも、今年度からゴルフの活動を紹介していただけるよう準備を進めてまいります。

⑧小中学校においてアントレプレナー教育(起業家教育)を進めることが必要ではないか。

氏家教育部長 新学習指導要領で示されている生きる力を育成するという観点から、アントレプレナー教育は大切な教育の1つだと認識していますが、学校教育には文部科学省が定めた学習指導要領があり、アントレプレナー教育だけを直接的かつ系統的に行うことにはなっておりません。しかし、学校ではそれぞれの教科の狙いの中で、例えば小学5年生の社会科、

私たちの生活と工業生産、中学３年生の社会科の公民、市場経済や、技術科の社会の発展と生物育成の技術などの学習の中で南砺市内の取組にも触れながら、アントレプレナー教育に関連した学びを行っております。

加えて、現在の授業の形態そのものが自ら課題を見つけ解決するといった問題解決型の学習を取り入れていることから、これらは全てアントレプレナー教育の基礎となる学習であると言えます。さらに、学校が独自にカリキュラムを考えることができる時間は総合的な学習の時間です。この時間を、南砺市ではふるさと教育やキャリア教育を系統的に行っており、南砺市の小・中学生にとって大切な時間であります。この時間をアントレプレナー教育に有効に活用することは可能です。

以上のことから、小・中学校の段階では、現在の教育課程の中で起業について学んだり、授業で問題解決型学習を取り入れたりすること、また、ふるさと教育やキャリア教育の中で系統的に行うことが、広い意味でのアントレプレナー教育についてつながると考えております。

齋藤幸江議員 個別質問（一問一答）

1 医療的ケア児への対応とその家族に対する支援施策

③医療的ケア児（小中学生）の現状と家族支援は。

氏家教育部長 現在、小・中義務教育学校に医療的ケアが必要な児童・生徒は在籍しておりません。

医療的ケアが必要な児童・生徒が就学を希望した際には、県と同様に、市教育委員会でも法律に従って、保護者送迎の負担軽減や医療的ケア看護職員の配置について、迅速かつ丁寧に対応していきたいと考えております。

2 英語教育の充実、英語検定３級受験料無料にしてはどうか

氏家教育部長 英語検定受験料の助成は、平成25年の国の目標値である中学校卒業時の英検３級以上取得者50%を目指して、平成28年度より検定料の半額を助成する事業として始まりました。３級、準２級及び２級を助成対象としており、英語検定受験機会の拡大を図りながら、現在も継続しております。このような助成は近隣市町村では行っておらず、南砺市独自の制度です。

その結果、市内中学校卒業時の英検３級以上取得者の割合が平成28年度

に19%だったものが、令和元年度から5年度にかけては平均27%となり、底上げが図られております。

この制度は、市の補助金のあり方に関するガイドラインにのっとり補助金交付要綱で補助率を上限の50%と設定していることから、議員ご提案の全額助成は難しいと考えております。しかしながら、学校側からはこの助成を小学校にも拡大し、英語力を向上させたいとの声があります。

英語検定受験料の助成対象を南砺市の小・中義務教育学校に属する全ての児童・生徒、全ての級とするなど、児童・生徒の英語学習に対する意欲を高められるよう制度の見直しも検討しているところです。

中島満議員 個別質問(一問一答)

2 学校体育・スポーツ事故について

① 近年の市内小中学校での体育・スポーツ事故はどれだけ発生しており、発生数はどのような傾向にあるか。事故にも重いもの、軽いものがあるが、どのように把握しているか。

氏家教育部長 市内小・中学校での体育スポーツ事故について、学校管理下における児童・生徒のけが等に対して給付を行う日本スポーツ振興センターの共済給付から発生件数を集計すると、小学校は令和3年度が134件、令和4年度が113件、令和5年度が127件、中学校では令和3年度が157件、令和4年度が121件、令和5年度が120件でした。

児童・生徒数に占める発生割合は、この3年間で、小学校が5%から10%、中学校では11%から13%の間で推移しており、傾向に大きな変化は見られません。

また、負傷、疾病の種類では、小・中学校ともに捻挫、打撲、骨折によるものが全体の約7割を占めております。

事故の程度については、命に関わるようなものや後遺症が長く残るようなものは、ここ数年発生しておりません。

② どんなときに、どんな事故が、なぜ起きたのか、全国的なデータを共有・分析し、同じような事故を繰り返さない態勢が必要と考えるが、見解は。

氏家教育部長 日本スポーツ振興センターでは、児童・生徒の災害給付を行うとともに蓄積された事故事例を活用し、データの整理、分析及び調査研

究を行っており、そこで得られた成果が学校関係者等へ提供され、指導に生かされております。

令和5年に発行された学校等の管理下の災害においても、小学校では、成長範囲が広範囲にわたることから、特に低学年児童に対する安全面について、安全教育に対する意識を高め、環境整備を含めた配慮を図ること、中学校では、身体面の著しい成長に伴い、心身のバランスなど思春期特有の課題に対して、生徒指導面も含めた計画的な対応を図ることなど、児童・生徒の成長に応じて事故防止の活動を行うことが大変重要であるとの報告があります。

議員ご指摘のとおり事故が繰り返されない体制がつくられるよう、どのような場面で事故が多発するか、なぜ減少したのかを学校ごとに検証し、全体で共有することで、各学校の実態に即した事故防止につなげられるよう、今後も指導を徹底してまいります。

民生文教常任委員会 質疑要旨（教育委員会関係）

【令和6年6月19日(水)】

（ネットワークアセスメント業務委託料）

石川弘委員 ネットワークアセスメント業務委託料ということで、新規で200万円の補正であります。いろいろと説明書きにも書いてあるのですが、これが全国的にこういったネットワークのアセスメントについてやり始めていることなのか、あるいはこれは県内でということで、いずれにしても、この共通した取組ということで、今回このネットワークアセスメントを実施されるのか、その点について、そういうことと、もう一つ一緒に聞きますが、業務委託ということでありますので、この委託先についても何か、ある程度めどがあつての話になるのか、その点いかがでしょうか。

上野教育部次長 今ほどのようなご質問ですが、全国的に今取り組んでおりまして、この事業につきましても、国の補助内示を受けての補正要求となっております。

1人1台端末ということで、今、非常に多くの端末を使うことになり、また、いろいろなアプリケーションのクラウド化が進んでいることによって、ネットワークの負荷が非常に高くなってきているということで実施するものでございます。

また、業務委託先につきましても、通信が専門業者やICT業者にはなりますが、補正をお認めいただけましたら、仕様をすぐ固めまして、早急に入札できるような体制を整えたいと思っております。

石川弘委員 GIGAスクール構想ということで、大変多くの端末が各学校に配備をされて、それらを生かしながら新しい教育にも取り組んでおられると思うのですが、今回、この実施の場所について、市役所のサーバー室ということと、福野小学校、福野中学校ということでの対象ということになっているのですが、ここが対象となっているのは、何でと言ったら変ですけれども、ほかの学校はどうするのかというところが大変気になるところで、こういったところの計画というか、スケジュール的なものが現在あるのか、その辺について確認させてください。

上野教育部次長 今ほどのようなご質問です。福野小学校、福野中学校につきましては、一番、小学校、中学校それぞれで使用端末数の多い学校ということ

で選定しております。基本的に各学校、台数の大小はございますが、ネットワークの構成については同じ構成を取っておりますので、一番台数の多いところで調査することによって、ボトルネックになるところや、どこに問題があるかということが確認できるということで対象としております。

当然、市役所サーバー室との情報のやり取りも行いますので、サーバー室も対象としております。

したがって、他の学校につきましては実施する予定はございません。この福野小学校、福野中学校のデータをもとに、ネットワークの分析、必要な部分というのを洗い出す予定としております。

この調査結果をもちまして状況を分析した結果、令和7年度で、ネットワークの増強なのか、あるいは設定のし直しなのか、その部分は、また改めて議会のほうにも相談していきたいと思っております。

石川弘委員 ということで、一番ボトムの大きなというか、そこを対象として、まず調査するということが分かりました。とはいえ、やっぱり、その次の気になる、何かがあったときの対応ということで、そこについては、令和7年度の予算でということでありましたけれども、特に、このG I G Aスクールでやったことについても、これは市内だけじゃない、全国的にやった話でありますので、特に、このネットワーク系というのは、大変、私らも難しいといえますか、今後調べる内容もいろいろあると思いますけれども、本当によくきちんと調べていただいて、次の対応に結びつけていただきたいということでお願いをしておきます。

上野教育部次長 今ほどおっしゃっていただいたとおり、導入当初は、もちろんこれで動いているネットワークではございましたが、その後、いろいろなアプリケーションが増え、あるいはクラウド化ということで、デジタル教科書などの通信料が膨大な状況になってきています。確かに、福野小学校、福野中学校のような大きな学校では、同時にアクセスすることで動作が極端に遅くなるという現状がもうございますので、何らかの改善につながるよう、しっかり調査していきたいと思っております。

(吉江中学校適応指導教室設置工事)

竹田秀人委員 まず、補正で上がってきております、この上がってきた経緯と事業内容について伺います。

上野教育部次長 経緯につきましては、現在、不登校が非常に増えている状

況の中で、学校には来られるのだけれども教室に入れない、そういうような生徒が増えてきている状況でもございます。その中で、吉江中につきましては、オープンスペースが基本の学校づくりとなっておりますので、今回、パーティションで部屋として区切ることによって、生徒のより安心して学べる環境をつくるというもので、今回の事業を予定しています。

それにつきまして、また国のほうの補助もついたことから、今回、補正要求となっております。

竹田秀人委員 おっしゃるとおり、不登校の児童さん、生徒さんが、だんだん増えてきて、また、非常に多様化といいますか、複雑な話になっている、対応がそうになっているのかなと思っておりますが、今回、国の補助を取ってということで補正になったのだというようなことであります。

今回、吉江中学校で、児童・生徒という話になります。吉江中学校で、中学校と小学校の不登校の方をこちらで対応したいと、そういうようなことでいいのか、お伺いします。

上野教育部次長 すみません、この事業は児童・生徒を対象としておりますが、吉江中学校につきましては、すみません、生徒でございます。誤解を招く説明になっておりまして申し訳ございません。

竹田秀人委員 今回は吉江中学校の生徒さんという、地域の生徒さんということになるのかもしれませんが、今現在、確実な数字ってなかなかつかみにくいかもしれませんが、南砺市全体でのものが、もし分かっていたら、また、今は吉江中学校ですけれども、次、ほかの地域のほうもお考えになっているのかどうか、その辺、お伺いしたいと思います。

上野教育部次長 今ほどの数字に関しましては、学校個別の数字については公表を控えております。市全体につきましても、不登校の調査という形では行っておりますが、このような、学校には登校するけれども教室に入れない児童・生徒という調査につきましては、すみません、具体的な数字は持っておりません。

他校につきましては、実際、空き教室を活用して、このような形で取り組んでいるところはございますが、要望が出てきておりますので、今後も補助事業を、手を挙げていくような形もありますし、状況によっては、補助が取れなくても開設するということもあり得る状況ではございます。

竹田秀人委員 全体の状況はなかなかつかみにくいとは思いますが、増えていることは間違いのないことなので、その辺もつかみながら進めて

もらいたいなと思います。

今回の108万9,000円についてはハード面の予算となっております。今回、ハード面はこういうようなのですが、ソフト的な面、人的な対応はどのように今お考えなのか、その辺をお伺いします。

上野教育部次長 人的な面につきましては、今回の補助の内示、採択の有無に関わらず、必要予算を当初予算で計上しております。今回この内示によりまして、人件費に回せる部分もございますので、それは組替えのほうで対応させていただいております。

竹田秀人委員 ちょっとあれですけども、大体、今回希望とすれば吉江中学校は何人くらいで、先生方が何人くらいで考えていますか。

上野教育部次長 申し訳ございませんが、学校ごとの数値というのは今出しておりませんので、お答えできない状況です。

竹田秀人委員 はい、分かりました。分かりましたというか、よく分からないのですが。なかなか言いにくいということは分かりましたし、また数字がつかみにくいということも分かっておりますが、そういう面は、やはり情報を的確に捉えながら対応をしていただきたいなと思います。

今回は吉江中学校の生徒さんということですが、午前中の情報というか、いろんな情報を見ますと、児童さんのほうでも結構多いということを知っております。その辺も、一緒にということになるのか、いおう教室は一緒にやっておられるということなので、その辺、一緒に考えながら、全体的なスパンで物事を考えていって、スピーディーに進めてもらいたいと思います。よろしくお願いします。

上野教育部次長 今ほどおっしゃっていただいた小学校でも増えている状況でございます。現在は、保健室登校というような形で過ごしている児童もたくさんおります。そのような中で、保健室は本来の保健室としての使い方、そういう別の教室ということで、要望に応じてまたしっかり対応していきたいと考えております。

(図書館資料整備事業)

石川 弘委員 今回 180 万 1,000 円ということでの新しく出てきた内容です。ちょっと説明書きを読んでおりましても、何かよく分かりにくいというか、寄附者の意向を反映して図書館の資料を整備する必要があるという内容もよく分かりませんし、個々に金額、予算を書いてあるんですが、ち

よっとこれを見とつても、何をしたいのかがよく分からないので、何か全体的な、この事業の概要と、何をどうしようとしておられるのか、その点についてちょっと説明いただけないでしょうか。

保市中央図書館長 ただいまの石川委員のご質問に対してですが、今回のご寄附をいただいたものについて、お亡くなりになった南砺市出身者のご遺言に基づいて、中央図書館にいただいたものです。未来に向けた子供たちへの思いと、郷土の役に立ててほしいという意向に基づき、児童・生徒の調べ学習に対応した図書を中心に、一般向け、それから読書のバリアフリー、大活字本ですとか点字本、そういうものを今回図書資料として購入させていただきます。

また、細かく経費を出しておりますが、購入する図書資料は、貸出しするために I C タグの貼りつけや図書資料にカバーの装備や、システムに登録するためにデータの使用料が別途必要になることから、計上して計上しております。

石川 弘委員 図書等を寄附されたものについて、図書館で利用できるように、タグつけしたり、整備したりということが分かりました。

具体的に、ちょっと何冊ぐらいとかいうのは分かりますか。

保市中央図書館長 まず、児童・生徒対応について、調べ学習等に対応した図書については 200 冊、それから、一般向けの図書は 200 冊、それから、点字本ですとか大活字本については 100 冊、合計 500 冊を購入予定にしております。それに基づいて、先ほど申し上げたバーコード代ですとか装備代、データ使用料が計上になっております。

石川 弘委員 はい、分かりました。

それで、この図書館については、この春先ですか、図書館のデジタル化ということで、大変使いやすくなったのかなとは思っておるんですけども、まず、図書館を利用しておられる方々から、何かこういったような反響と云えばいいのか、反応と云えばいいのか、何かお声とかお聞きになっておられるか、その点についてちょっと教えていただければ、お願いします。

保市中央図書館長 開始後から二月ほどたっておりますが、処理が早くなったこと、それから、予約した本も、予約棚から自身で取り出し職員を介さずに貸出しすることについて、便利になった、良くなったというご意見はいただいております。ですが、逆に、難しい、取扱いがちょっとできない

というようなご意見もゼロではありません。そういった方には職員が積極的にお声をかけさせていただいて、お手伝いをしております。

石川 弘委員 もう一点なんですが、その図書館のデジタル化のいろんな中に、小学校とか中学校、学校の図書館との連携というものも計画の中にうたってあったと思うんですけども、その点について、現状どういったような状況でやっておられるか、その点についてもちょっと確認させてください。

保市中央図書館長 まず、今年から開始しました、なんと！ぐるっと巡回本サービス事業を利用して、市立図書館の図書資料を学校へ貸出ししております。利用を開始いただいている学校は、今のところ全体の93%です。

児童・生徒が、タブレットを使ってホームページから市立図書館への本を予約し、本格的に利用していただいている学校は全体の60%になっております。今後は授業に必要な資料の貸出しも増えてくるものと予想しています。

次に、今年度については、新システム導入に基づき、学校図書館の連携強化のために、要望ある学校図書館へ図書館職員が訪問しております。

また、毎月1回オンライン会議を開いて情報交換をして連携を強化しております。

石川 弘委員 特に、この大変大きなお金をかけてデジタル化したわけでありまして、いろんな利用価値といいますか、出てくるんじゃないかと期待はしております。最初に中央図書館のほうを見させていただいたときも、我々は大変借りやすく、返しやすくなったなというふうに見ていたんですが、あとは、やっぱり子供たちにどんどん本に親しんでもらう、そういったような働きかけも多分もっともっと必要なんだと思うので、借りやすくなったという点は確かにそうかもしれませんが、あとは、どうやって親しんで、もっともっと本を読んでもらうかというところの取組を、是非きっかけづくりをいろいろと考えていただいて、本に親しむ、そういった子供たちにもなってほしいなと思っておりますので、そういった取組をまたお願いしたいと思います。

保市中央図書館長 学校図書館と市立図書館の連携を強化し、密にして、子供たちがますますたくさん本の利用をしていただくように、お勧め本のリストですとか情報提供を行っていきたいと思っています。

また、図書館窓口、カウンターにおいては、貸出しできる方が躊躇する

ことなくスムーズな貸出しができるように、丁寧な説明を続けて日常業務に当たっていきたいと思います。

（南砺市水泳協会活動支援補助金）

中島洋三委員 体育総務費、体育団体育成費ということで1,000万円の補正でございます。説明資料では、寄附を受けて、南砺市の水泳協会のほうへ、審査して交付するというふうに書いてございます。また、ジュニア水泳選手の育成を支援するためということでございますけれども、非常に大きいお金でございます。非常にありがたいかなというふうにも感じておりますけれども、まずこの、1,000万円の寄附を受けた、その経緯というものを、分かっておられれば、教えていただきたいと思います。

山下生涯学習スポーツ課長 この寄附は、今年、令和6年3月に、市内の建設業者の方から受けたものでございますが、市内のジュニアの大変すばらしい成績を収めておられる、そういったことを応援したいということで寄附されたものと考えております。

中島洋三委員 できれば、その真意というか、その企業の方から、何で1,000万円寄附をされたのかということも、やっぱりしっかりと聞いておく必要があると思います。市内の各競技団体では、その競技団体ごとに、広く浅くというか、企業を集めて、そういうジュニア選手だとか、ジュニアじゃなくても一般選手も応援しようということで、こういう寄附みたいな形でやっているのもあります。今回のこの1,000万円という非常に大きなお金なんですけれども、多分、水泳協会の方々も、これは有効に使われるんだと思いますけれども、特に、城端地域では、水泳選手が全国大会で非常にすばらしい成績をおさめられておりますし、聞きますと、市外からも、その水泳クラブに来られる方もいるというふうに聞いておりますので、こういうありがたい寄附金を、ぜひとも、その競技団体のほうで、しっかりと使われるように、確認をしていただきたいと思います。

山下生涯学習スポーツ課長 今、中島委員のおっしゃられたとおり、このいただいた寄附につきましては、この寄附金を原資とする南砺市水泳協会育成基金というようなものをしっかりとつくり、その中で規定を設けて、その寄附された方のご意向をしっかりと盛り込んだ内容にして、有効に使用していけるように運用してまいりたいと思っています。

（松村謙三先生マンガ本（中国語版）刊行）

竹田秀人委員 松村謙三先生のマンガ本（中国語版）の印刷についてであります。まず、この事業の話聞く前に、令和4年度に、このマンガ本を作成しまして、約2,300冊だったと思うんですけども、配布されました。その評価といいますか、それをどういうふうに皆さんのところで使ってもらっているか、どういうふうに考えておられるか、まず、その辺、お伺いしましょうか。

山下生涯学習スポーツ課長 松村謙三先生のマンガ本は、令和4年度に刊行し、小学校の生徒にお配りして、道德ですとか総合の学習で、郷土の偉人を知ることによって使っていただいております。福光中部小学校では生徒が話をもとに自分たちで劇をされたといったことも聞いておりますので、有効に、小学生、それから若い方々のほうへ周知を少しずつ広めていっているものだというふうに考えております。

竹田秀人委員 本当に、今回は松村謙三先生の話ですけども、南砺市には偉人の方がたくさんおいでになられますので、しっかり、その話を子供さんにお伝えしていくことが大事だなと思っております。松村先生については、今年、紙芝居もつくられて、しっかりとつないでいくといいますか、話を進めていくというふうなことでございますが、今回、中国語版を作成されるに至った経緯と目的は何なのか、お伺いします。

山下生涯学習スポーツ課長 補正の説明資料のほうにも記載させていただいておりますが、市が行う中国への中学生の派遣事業ですとか、顕彰会が主催されている中国訪問に際しまして、紹興市の若い方々との交流の中で、向こうの皆さんもだんだんと年代が変わってくるにしたがって、松村先生の功績について、だんだんと認識が薄れてきているということもあると思いますので、そこへ行った際に、中国語版を使って、当時の功績について思い返して、紹興市のほうでも広めていけるようにということで、この中国語版を作成するという事になったものです。

竹田秀人委員 説明資料を読めば分かるんですけども、今、なかなか政治がうまくいっていない、そして、経済のほうは何となく進んでいるかなと思いますし、国際交流のほうも、何とかせんあかんという話で進んでいるんですが、なかなか交流が進んでいない部分もあるのかなと思っています。

中学生のことも、ここに書いてありますが、国際交流についてはなかなか

か賛成といいますか、参加がなかなか集まらないというようなことがあります。そこへもってきて、中国語版をつくって、持っていきますよと言われても、なかなか持っていく機会がないんかなと思ったりもして、何とかそういう機会をつくってほしいと思いますし、また、もう一つの目的として、紹興市の方に、若い方に、松村謙三さんを知ってもらいたいんだというようなことも書いてあります。

非常に大きな話でありまして、紹興市の人口は約 500 万人ほどでありまして、非常にたくさんの方がおられます。そのどの辺をどういうふうに話を持っていくかということは非常に大事なんでないかなと思っておりますけれども、今回 1,000 部ということでございますけれども、この 1,000 部というのはどのように考えられて 1,000 冊なのか、その辺をお伺いさせていただきます。

山下生涯学習スポーツ課長 紹興市の人口は大変多く、現時点では 440 万人ほどと聞いておりますが、それに対する 1,000 部というのは大変少ない数字かと思っております。ただ、先ほど申しました中学生の派遣事業や、顕彰会の中国訪問、そういったときに持っていける部数ということで、それぞれの年間の持っていく冊数と、あと、松村記念会館に年間 500 人近くの来訪される方がいらっしゃいまして、その中にも中国人の方もいらっしゃいます。そういった方への販売というような形でも考えておりまして、そういった当面の間の冊数を見込みまして 1,000 冊ということで作成するというようにしております。

竹田秀人委員 1,000 冊にこだわるわけじゃありませんが、やはり、国際交流の中で、相手に渡したい、そしてまた、紹興市の方にぜひとも謙三先生とはこういう人なんだということを分かってもらいたい、周恩来先生のこととも書いてありますから、そういうことで紹興市なんですよということを紹興市の方に分かってもらいたい、ということで、1,000 冊がいいのか、2,000 冊がいいのか、と非常に分かりにくい部分ですが、この 1,000 冊をどのようにお渡ししようとしているのか、それをまずお伺いします。

山下生涯学習スポーツ課長 すみませんが、今、積上げ根拠の詳しい数字を持ち合わせておりませんので、確認して、報告させていただきます。

竹田秀人委員 常任委員会なんで、予算について今は討議しよる中で、私、1,000 冊のほうを駄目だとかいいとかいうんじゃないくして、どういうふうに 1,000 冊を考えておるんかということを、まずお伺いして、それによっ

て、本当に謙三先生の中国版をつくる意義がどこにあるかということ、やはり広く市民の方にもお伝えしなくてははいけないし、そういう思いでお伺いしているんで、その辺を、やっぱり松村謙三先生を何とかして皆さんに少しでも知ってもらいたいという思いがそこにあるんでしょうから、そこが、どの辺なのかということ、この 1,000 冊に込められていると思うんで、教えていただきたいなど。

山下生涯学習スポーツ課長 早急に確認させていただいて、報告させていただきます。

竹田秀人委員 よろしくお願ひします。もう一つ、財源です。松翁記念財団から 3 分の 1 の 40 万円入っております。この基金からいただくということは、国際交流の場に使ってほしいという話ですが、これ 3 分の 1 だけなんですけれども、これが限界なんですか。その配分方法について、中身を知っていたら教えてください。

山下生涯学習スポーツ課長 そちらについても併せて確認をさせていただきます。

竹田秀人委員 わし、否定しておるんじゃないがね。頑張ってもらいたいと思っておるんで、その辺ひとつよろしくお願ひします。

(なんと元気っ子パワーアップ大作戦事業)

中島洋三委員 体育振興費についてです。生涯スポーツ推進費で 124 万 2,000 円、「なんと元気っ子パワーアップ大作戦！」事業ということで、冬場のスキーの話でございます。

説明資料では、親子の触れ合いとか何かそういうスキーの競技力を向上させるというようなふうに書いてありますし、ミニ講演会みたいなものも行うというふうに書いてあります。この事業は、親子を対象とした、例えば、アスリート志向ではなくて、普及的なもので進めるという意味で理解してよろしいのでしょうか。

山下生涯学習スポーツ課長 この事業は、「なんと元気っ子パワーアップ大作戦！」ということで、著名なアスリートの方、オリンピックの方、そういった方を講師にお招きして、市民、親子が直接交流する、そういった機会を設けることでスポーツに親しむ市民の増加、スポーツの実施率の向上、そういったことにつなげていきたいということで開催しているものです。これまでも、一昨年は、水泳の萩原智子さん、その前の年はバスケットの

長谷川誠さんをお招きして、こういった機会を設けて開催しておるもの
でございます。

中島洋三委員 スポーツは違うけれども、毎年やっているということですね。
できれば多くの方にこれに参加してもらえればいいのかなと思いますけ
れども、人数には多分制限があると思います。大体人数的にどのくらいを
予定されておられるのか、その辺いかがでしょうか。

山下生涯学習スポーツ課長 今回、補正をお願いさせていただいております
が、こちらについては、自治総合センターのコミュニティ助成を活用して
行うことにしております。人数としては、見込みで子供さんが 25 人、それ
から大人のほうが、親御さんですとか役員も含めて 55 人、合せて 80 人ほ
ど見込んでおるところでございます。

中島洋三委員 スキーではすごい数だと思います。この方が、一人で全部の
方を見るというのはちょっと不可能かなみたいなことも少し思いますけ
れども、ただ、清澤さんでしたか、すごいけがをされて、だけど、不屈の
精神で日本代表になられたという話でございます。

私的に興味があるのは、やはり、スキーが上手というのもしかりですけ
れども、やはり、そういうけがをして復活をしてきたという、そのプロセ
スが非常に大事なことはないかなということで、そういうお話、本
人もお話しするというふうに書いてありますけれども、そういうところも
しっかりと来られた方に話をしていただければ非常にいいのかなという
ふうにも思います。

それと、もう一つ、これはあくまでもファミリーというか、家族的なも
のであって、本当に競技をがんがんやっている、その子供たちは対象とし
ないということで理解してよろしいですか。

山下生涯学習スポーツ課長 清澤さんのスポーツ教室ですが、実際に本人さ
んがスキーを履いて滑られるということではないと思っています。子供た
ちの滑りに対して、いろいろなアドバイスをされたり、先ほど、委員おっ
しゃられたように、これまでのいろんな人生経験から、お話をしていた
けるものというふうに思っております。

競技をしておられるジュニアの方も、そういった実際の技術ということ
ではなく、これまでのいろんな経験、そういったことの話聞いて、また、
役立てていただきたいと思っております、特に対象としていないという
ことではございません。

中島洋三委員 参加者の数には限りありますがけれども、ぜひとも、多くの方、想定内の 80 人の方に来てもらって、見てもらう、アドバイスしてもらう、それから、大事なお話も聞くということをしつかりとやっていただきたい。そのために、しつかりと P R をしていただきたいというふうに思いますので、まだまだ時間はありますから、その辺しつかりやっていただきたいと思います。

山下生涯学習スポーツ課長 この事業につきましては、予算をお認めいただけましたら、1 月に予定をしております。それまでに、しつかりと多くの方々に P R を進めていきたいと思っております。

(福野 B&G 海洋センタープール鉄骨ボルト交換及び塗装工事)

中島洋三委員 体育施設費、プール管理費、2,112 万円についてです。福野 B & G 海洋センタープールの鉄骨修繕工事ということでございますけれども、この施設は修繕するのは今回が初めてなんでしょうか。

山下生涯学習スポーツ課長 この B & G プールにつきましては、昭和 63 年に設置されて以来、大規模なこういった修繕というものは行われていないというふうに考えております。

中島洋三委員 工事についてですけれども、工事の期間というのは、大体どのくらいを想定されておられますか。

山下生涯学習スポーツ課長 工事にかかる期間については、少し確認をさせていただいてからお答えさせていただきたいんですが、B & G プールは、屋外にある、屋根がついたプールでありまして、温水プールではないプールです。シーズンが終わり次第、取りかかるというような予定で進めたいというふうに考えております。

中島洋三委員 工事期間についてはまた確認して、知らせていただきたいと思います。それと、工事については、シーズンが終わってからということですね。それだったら全く問題はないというふうに思います。

B & G のプールですがけれども、過去 5 年間ぐらいの利用者数というのを、後ほどでいいですから、資料で出してもらえないかなというふうに思います。よろしくお願いします。

山下生涯学習スポーツ課長 確認して、出させていただきます。

(クレー射撃場放出機更新及び付帯工事)

竹田秀人委員 クレー射撃場の放出機更新事業、計 2,373 万円の補正が上がっております。今、有害鳥獣とか、いろんなところで捕獲もあって、いろいろと使われていることが多いのではないかなと思うんですけども、この射撃場については、前は県の所有だったものが、市のほうへ譲渡されたということでありまして。今一度、そのときの経緯、基金のこともあるんで、教えていただきたいなと思います。

山下生涯学習スポーツ課長 このクレー射撃場につきましては、もともと県の施設でございまして、射撃のスポーツを主な目的として設置されたものでございます。2000 年の富山国体、それに向けて県のほうで整備をされましたけれども、その後、周辺の鉛の汚染といった問題も少し発生してきたこともあって、県のほうでは施設を閉鎖する動きがございました。

それに対して、有害鳥獣のそういった訓練の場として、県内唯一の施設ということもあって、南砺市でそれを引き継いで、施設の運営をしていくということで県のほうから譲渡を受けて現在に至っておるものでございます。当時の 2000 年国体に設置された機材、それらを今も修理をしながら使っている、そういった状況でございます。

竹田秀人委員 今、財源のほうにクレー射撃場の施設管理基金の繰入金とあります。これは、たしか当初に、基金が出来上がったものではないかなと思っておるんですが、そのときからの、もし分かれば経緯を教えてくださいなと思うんですけども。

片田財政課長 この基金ですが、先ほどのお話にありました県から譲渡を受けるときに、県のほうからも、支援といいますか、今後の南砺市として施設を維持していくという部分で、ちょっと金額の細かいところまではすぐ出てきませんが、3,000 万円近くいただいておったかと思います。

それを基金として積み立てまして、以後、施設の改修等にも使わせていただきつつ、令和 5 年度末で 160 万円余りほど残っておる状況でございます。当初予算にも少し充当させていただいております、今回お認めいただきますと、この基金は全てなくなるというふうな状況でございます。

竹田秀人委員 基金としていただいたものが、これでなくなるということですが、この期間で、その 3,000 万円という金額が必要だったということでありまして。

このクレー射撃場というのは、北陸で 1 つでなかったかなと思うんです

けれども、いろんな有害鳥獣とかの件もあって、いろんな指導であったり使用がいろんなところから来ておるんでないかなと思うんですが、その利用状況はどんなようなことになっていますか。

山下生涯学習スポーツ課長 詳しい利用者数は持ち合わせておりませんが、北陸には、石川県、それから福井県のほうにもクレ射撃場はあるというふうに把握しております。

富山県にはここだけということで、県内の猟友会の方々などが利用されているものと考えています。また、石川県のほうは加賀のほうにクレ射撃場があると聞いており、富山県側に近い方々は福光のほうを利用されているというふうにも聞いております。

竹田秀人委員 南砺市で管理しておるんだけど、富山県のそういう指導であったり、試験であったり、いろんなものがここでやられているんじゃないかなと思うと、ここに財源として、今あるのは、その基金と、それと、スポーツセンターの宝くじの助成金、それと、過疎債を利用して、あと一般財源ということです。

今後、県のほうへも、しっかりと、この施設の存続について、支援をお願いするべきでないかなと思いますが、お考えのほうはいかがでしょう。

山下生涯学習スポーツ課長 委員おっしゃられたとおり、この施設については、南砺市にありますが、富山県全体の大変大事な施設だというふうに思っております。そのことについて、今ほどの基金がこれでなくなるということも踏まえまして、県のほうへは、しっかりと、要望してまいりたいというふうに考えております。

今年度の要望の中にも盛り込ませていただいております、前回と同様に、基金というような形で応援していただけるようお願いするとともに、もっと、いうなれば県営に戻すというぐらいのそういったことも併せて検討していただきたいということで、要望してまいりたいというふうに考えております。

竹田秀人委員 本当に、今、特にクマ、今日もニュースで言っていましたけれども、朝、うちの中に入ってきて、しばらく出て行かなかったというような話もあって、非常に危険な状況になっております。

そういう市民の安心・安全を守るために、今、県営へという話もありましたが、突如出てきた話ですが、また、そういう議論もしながら、この施設をしっかりと維持していくということでよろしくお願いします。

山下生涯学習スポーツ課長 繰り返しになりますが、有害鳥獣等の駆除、そういったことの大変重要な施設でございますので、しっかりと、こういった形であれ施設が維持されていくように進めていきたいというふうに思います。

(松村謙三先生マンガ本(中国語版)刊行)

山田清志委員長 会議を再開いたします。

休憩前に調査依頼をしておりますけれども、事業が2つにまたがった依頼をしておりますので、一遍にご報告いただくと收拾がつかなくなりますので、1つ案件ずつ説明をいただきたいと思います。

最初に、松村謙三マンガ本について、当局のほうから報告いただきたいと思います。

山下生涯学習スポーツ課長 まず、松村謙三先生の中国語版のマンガ本の印刷の件でございます。1,000冊の積上げの根拠ということでございますが、中学生の派遣事業ですとか顕彰会の中国訪問、そういったことが、コロナとかそういったことで中断したりしておったところでございますけれども、そこへ行かれる方々に手持ちで持っていただいていたものが、20冊ずつほど見ておりますし、松村記念会館に来館された方へのもの、それから、日中友好交流協会のほうで配るもの、それから、まだ実現しておりませんが、中国語講座、そういったものにも使う、そういったことも検討しておるということで、年間約100冊の利用を見込んでおります。その10年分ということで、今回1,000冊の積上げをさせていただいたということで、ございます。

それから、あわせまして、松翁記念財団の国際交流事業の助成金の3分の1につきましては、こちらのほうは100万円以上300万円未満の事業に対して、3分の1の助成を行うという中身になっておりまして、それに基づいて、今回助成していただけることになったものでございまして、補助率は3分の1ということになっておるところでございます。

竹田秀人委員 短い時間で対応していただきましてありがとうございます。まず、1,000冊の根拠について、100冊ずつを10年分というのはどうなのかなという、ちょっと思いはありますが、紹興市の中で、特に関係が深かった学校が3つあります。文瀾中学と稽山中学と秀水小学校、この3つが、今までずっと紹興市との交流の中で子供たちが行き来しておったんです。

それが、ちょっと中断しとるような状況でありますんで、ぜひとも、まずは、この学校へ配布する方法を考えていただきたいと思いますし、そして、昨年、当市も、紹興市の皆さんと、40 周年ということで記念式典をやって、たくさんの方に来てもらっておりますんで、その関係者の方へも、交流協会のほうへ話をするということですが、その辺もつけ加えて配布すると、多分、1 年間に 100 冊ぐらいなんかすぐなくなってしまうと思います。もっと多く要るのかもしれませんが。それはやってみないと分からない話ですが、その辺も考えながら、松村顕彰会の皆さんが一生懸命やっておられるのも分かりますが、それを踏まえて、やっぱり市としてもしっかり、この辺のポイントを押さえて事業を進めて、そして盛り上げてもらいたいと思っていますんで、よろしく願いしたいと思います。

松翁記念財団については、これは、安田善次郎さんの国際交流についての財団でありまして、参考に聞かせてもらったのですが、ぜひとも、国際交流の団体へということではありますが、あまり今まで出てきたかどうか、ちょっと分かりませんが、ぜひとも、こういう機会を使いながら、今、中学生の交流について使えるかどうかちょっと分かりませんが、今、オーストラリアとかいろんなところへ行っておられるんで、それをぜひとも応援してあげていただけたらなと思いますんで、ぜひ、松村謙三先生の中国語版、しっかりと事業を進めてもらいたいと思いますんで、よろしくお願いします。

山下生涯学習スポーツ課長 ありがとうございます。顕彰会の皆様方が一生懸命やっておられるということもしっかりと行政としても見ておりますし、市といたしましても、松村謙三先生のこれまでの功績をしっかりと、今後、若い方々へつなげていく、そういったことから、市としてしっかりと取り組んでまいりたいというふうに思っています。

また、松翁記念財団の助成金、そういったものも、また、いろんなところに活用できるように、また検討しながら進めてまいりたいと思います。

(福野 B&G 海洋センタープール鉄骨ボルト交換及び塗装工事)

山田清志委員長 もう一件、B & G 海洋センタープールの報告についてお願いいたします。

山下生涯学習スポーツ課長 B & G 海洋センタープール鉄骨修繕工事の件でございます。工事期間について確認しましたところ、実際に工事にかか

る期間はおよそ4か月間かかります。現時点では、冬場、塗装の乾燥がなかなか難しいということもありますので、年内、12月末ぐらいまでには工期を終わらせるような、そういった段取りで、夏休み期間が終わった直後からすぐ入るような、そのような段取りで進めたいというふうに考えておるところでございます。

また、B & Gの利用者数でございますが、B & G海洋センターはプールだけではなく、いろいろ会議室等も一緒にありまして、ちょっとプールだけの人数というものが、今すぐに確認できなかったわけですが、全部合わせて、B & G海洋センターの施設の利用者数を申しますと、大体、令和元年から、コロナの間、少し落ち込みましたが、3万人以上の利用をいただいておりますということでございます。

中島洋三委員 工事期間は大体4か月ということです。塗装して乾くまでにちょっと時間がかかるということで、12月末までに終わるためには、夏休みが終わってすぐに取りかかるということによろしいですね。

それで、先ほどの利用者数ですけれども、プールだけの利用者数をお聞きしたかったですけれども、ちょっと分からんということなんで、全施設を含めて年間3万人以上の利用者があると。

私が知りたかったのは、先ほどちょっと触れられましたけれども、コロナ以前と、それからコロナになってと、コロナ明けてからの、そういう人数をちょっと知りたいなと思って伺いました。ただ、今、これだけだとちょっと分かりませんので、後ほど、よろしければ、資料で示していただければいいかなと思いますので、よろしくお願いします。

山下生涯学習スポーツ課長 確認させていただいて、資料で出させていただきます。

(クレー射撃場放出機更新及び付帯工事)

才川昌一副委員長 戻って大変恐縮なんですけれども、クレー射撃場の話、もう一度お聞かせいただきたいと思います。

今回のこの改修工事で基金が全くなくなるという話でした。見ていったら、何か、毎年のように改修していたかなと思います。この施設の利用の状況というのを見たときに、県外の方とか、南砺市以外の方、利用の割合から言ったら、きっと南砺市以外の方のほうが多いがじゃないかと、そんなふうに思うときに、最初、県から譲渡してもらったときに、3,000万円ぐ

らの基金をいただけるから譲渡してもいいと、しかしながら、この基金がなくなったときはどうするかという議論も、いただいたときにしたのではないかと、そんなふうに思うときに、基金がなくなった今のこの状況のときに、来年もまた何かがあって改修せんならんという話になったら、市からの持ち出しばかりをして、この施設を維持していかんならんかどうかという話になってくるというふうに思ったときに、県営という話もありましたけれども、県からの支援というものを早急にしてもらえるように求めていかないと、この施設そのものを運営していけるかどうか分からんんじゃないかと、そんなふうに思います。

ぜひとも、そこら辺の対応を、県としっかりと協議していただくように改めてお願いをしたいと思います。

氏家教育部長 先ほども説明しておりますが、市としても、今回の県への要望、最重点要望として、要望する予定としておりますので、今後のクレ射撃場の運営について、県と協議を開始させていただきたいというふうに思っております。よろしくお願いいたします。

(閉会にあたっての市長挨拶)

田中市長 先ほど、クレ射撃場の話がございましたが、これは、やはり、おっしゃるとおりで、この基金を積んだときと、鉛のときの議論というのは、今一度精査をしながらおりますけれども、隣のライフル射撃場というのは県の施設で管理をしておられますし、今後、クレ射撃場がどれぐらいの利用率になるのかとか、また、ハンターとか猟友会の皆さんの今後の情勢というものの、前々から見ると全然変わってきておりますので、もう一度、県のほうに再考し、どのようにこの後の維持管理を進めていくのかというのは我々も喫緊の課題だと認識をし、要望書とともに県のほうにまた相談に行きたいなというふうに思っておりますので、また、皆様方からもご意見を賜りたいというふうに思います。

当然、猟友会の皆さんが必要な施設だと言いながらも、これ富山県全体の施設としてどう位置づけるかということも大変重要でございますので、私からも、直接知事のほうにもお願いしていききたいと、このように思います。

令和6年度南砺市中学生学習支援事業

- 1 日 時 8月5日(月)・6日(火)・9日(金)・10日(土)
各日 9時～12時
- 2 参加者 南砺市内中学生全学年・義務教育学校7～9年生 24名 (延べ49名)
- 3 講 師 富山国際大学子ども育成学部学生
- 4 会 場 井波会場:地域包括ケアセンター 多目的研修室
城端会場:城端伝統芸能会館「じょうはな座」 練習室4・5
福野会場:福野体育館 会議室2
福光会場:南砺市役所別館 大ホール

【応募者】

校区别	人数
城端	1
平	0
利賀	0
井波	5
南砺つばき	6
福野	7
福光	5
吉江	0
	24

(R5:25人延べ44人)

【井波会場】

日程別	人数	内訳(学年別)
8月5日	8	井波中:5 福野中:1 つばき学舎:2 (中1:2人 中2:4人 9年生:2人)
8月9日	6	井波中:4 福野中:1 つばき学舎:1 (中1:2人 中2:3人 9年生:1人)
計	14 (延べ)	

【城端会場】

日程別	人数	内訳(学年別)
8月5日	5	城端中:1 福野中:1 つばき学舎:3 (中1:1人 7年生:1人 中2:1人 9年生:2人)
8月9日	5	城端中:1 福野中:1 福光中:2 つばき学舎:1 (中1:1人 中2:3人 9年生:1人)
計	10 (延べ)	

【福野会場】

日程別	人数	内訳(学年別)
8月6日	8	福野中:5 城端中:1 つばき学舎:2 (中1:2人 7年生:1人 中2:1人 中3:3人 9年生:1人)
8月10日	6	福野中:5 城端中:1 (中1:2人 中2:2人 中3:2人)
計	14 (延べ)	

【福光会場】

日程別	人数	内訳(学年別)
8月6日	6	福野中:1 福光中:3 つばき学舎:2 (中1:1人 中2:1人 中3:2人 9年生:2人)
8月10日	5	福光中:4 つばき学舎:1 (中1:1人 中2:2人 中3:1人 9年生:1人)
計	11 (延べ)	

新しく入った本

大人向け



花のような多肉植物
の寄せ植え
kurumi / 著
主婦の友社

子ども向け



さかのうえのねこ
いとうみく / 作・絵
あかね書房



夏休み特別イベント

図書館の本や
イベント情報など
詳しいことはweb
をチェック!

- 全館 本の展示
 - ・夏休みお役立ち本コーナー
 - ・あの日 - 平和について考える -
- 中央図書館
 - ・8月 7日(水)午後2時～ 上映会
 - ・8月21日(水)午後2時～ 夏休みおたのしみ会
- 福野図書館※プレゼントあり
 - ・8月3日(土)～4日(日) こども縁日
- 井波図書館※スタンプ3つでプレゼントあり
 - ・わん!にゃん!ちゅう!スタンプラリー
- 城端図書館※プレゼントあり
 - ・「夏の本」さがしにチャレンジ!
- 平図書館
 - ・8月7日(水)午後4時15分～
 - おはなし会&工作会「わくわく本のひろば 夏」



8月のおはなし会

- | | | |
|---------|---------------------|-------------------------------------|
| ○3日(土) | 午前10時～
午前11時～ | 福野(職員)
中央(おはなしまんまる) |
| ○10日(土) | 午前10時～ | 福野(本でこんにちば) |
| ○17日(土) | 午前10時～
午前10時30分～ | 福野(職員)
井波(ピッコログループ) |
| ○24日(土) | 午前10時～
午前10時30分～ | 福野(本でこんにちば)
城端(虹の会)
井波(つばきの会) |
| ○31日(土) | 午前10時～ | 福野(職員) |

●大人のためのおはなし会「おはなしタイム」

1日(木)、15日(木) 午前10時30分～ 中央図書館にて

本の展示

一般書	児童書	展示図書館
夏は山 夏は海 夏は夜	ようこそ うみのせかいへ	中央図書館
読書で応援 バリオリンピック	でたー!えほんできもだめし	福野図書館
暑い!熱い!寒い?	なにして あそぶ?	城端図書館
世界を翔ける	めざせ!オリンピック	井波図書館
体が資本	だれか いますかあ?	平図書館

発見!隠れた人気本

「賢い人のとにかく伝わる説明100式」深谷百合子 / 著、かんき出版、2024.2

おすすめ!オーディオブック(音で聴く本)

「超一級の実録「終戦秘史」第1巻、第2巻」下村海南 / 著、講談社